

## 広報・広聴活動実施報告書

会派で実施した広報・広聴活動の結果について、下記のとおり報告します。

令和4年5月23日

光市議会議長 中本和行様

光市議会会派 『共創』

代表 田中陽三

議員 仲山哲男

### 記

- 1 日時 令和4年4月23日（土） 19:00～20:30
- 2 場所 コワーキングスペース ヒカリバ  
(光市浅江1丁目4-14 アイオイビル 3F)
- 3 内容 第3回つながる勉強会 「オンライン活動報告&意見交換会」  
※事前に「インターネット意見・提言箱」を設置し意見集約
- 4 結果 別紙のとおり

日 時	令和4年4月23日（土）19:00～20:30
場 所	コワーキングスペース ヒカリバ （光市浅江1丁目4-14 アイオイビル 3F）
テーマ	第3回つながる勉強会 「オンライン活動報告&意見交換会」
主 催	光市議会会派「共創」
参加者	開催時間中、常時10数名が参加
目 的	<p>光市議会では、市民の皆さんの声を直接聴く機会として、例年、議会報告会、高校生との意見交換会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年から開催できていない状況が続いており、市民の皆さんを対象とした議員活動も、対面での活動が難しい状況が続いています。</p> <p>しかし、会派「共創」としましては、コロナ禍の今だからこそ「議員（市議会）が市民の声を聴くことを諦めてはいけない」との思いから、新しい挑戦として、「インターネット意見・提言箱」を設置し、市民からの自由なご意見を事前にお聞きすることを目的として「オンライン報告会&amp;意見交換会」を実施しました。</p>
<p><b>【概要】</b></p> <p>1 「インターネット意見・提言箱」設置（事前実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google フォームを活用し、無記名で自由に意見を投稿できるサイトを立ち上げ。</li> <li>・周知は、会派活動報告書令和4年3月号（市内約15,800世帯に配布）に案内を掲載し、田中、仲山それぞれのFacebook ページや地元新聞でも周知。</li> <li>・回答期間は、令和4年3月29日（火）～4月22日（金）</li> <li>・意見・提言は、5名の方からあり、「オンライン報告会&amp;意見交換会」開催時に報告及び意見交換を行うこととした。（1件は個別対応）。</li> </ul> <p>2 「オンライン報告会&amp;意見交換会」</p> <p>コワーキングスペース ヒカリバにおいて、オンライン会議システムZoomを活用し、誰でも参加できるオープン形式で開催。</p> <p>「インターネット意見・提言箱」と同様、会派活動報告書や、田中、仲山それぞれのFacebook ページ、地元新聞において周知。</p> <p><b>【当日の流れ】</b></p> <p>(1) <u>会派活動の報告</u>（約25分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント作成のスライドを共有しながら、主に令和4年予算編成に伴う会派要望の内容について説明。</li> </ul>	

(2) 前回いただいた意見・提言への会派としての取組み回答 (約20分)

①「アンケート自由意見分」

②「オンライン意見交換会分」

(3) 意見交換 (30分延長し約45分実施)

・今回「インターネット意見・提言箱」でいただいた声を紹介後、チャット機能も使いながら参加者と自由意見交換

※報告内容、意見交換内容は資料として添付。



**【所感】**

「オンライン報告会&意見交換会」では、時間内に常時10数名の参加がありました。回数を重ねてきたこともあり前回よりスムーズに進行ができたように感じています。

また、参加者の方にも、前回同様、カメラオフ可能、チャット機能も基本的には運営側にしか公開しない手法で開催したことにより、気軽にご意見をいただくことができました。

前回課題となった開催時間をご提言通り少し遅くして19時スタートとしたこと、また、いただいた意見・提言への回答を作成し報告したことは評価をいただき、市民の皆さんとの信頼関係構築に大きく寄与できたのではないかと考えています。

「インターネット意見・提言箱」については、前回のWEBアンケートに大きな反響があり、アンケート結果で市民の意見や要望等を聴く広聴活動を約半数の方が求められていたことから、今回は無記名で自由に意見・提言が投稿できるようにしました。

しかし、実際にいただいた声の件数は少なく、簡単なアンケートからご意見を聴く方法や、テーマを設定することも必要だったのでは？と気づきをいただきました。

今後はオンラインの良さも活用しながら、対面での開催、より小さな声が聴けるよう、常にチャレンジ精神をもって改善しながら取り組んでいけたらと考えています。

「インターネット意見・提言箱」に回答いただいた方や「オンライン報告会&意見交換会」に参加いただいた方に感謝するとともに、今後も常に市民の皆様とつながりながら共に新しい価値や魅力を創造していくことを目標とし、未来に向けて取り組んでまいります。

※報告会で使用した説明資料と会派回答は以下の通り。

## (1) 会派活動の報告

「令和4年度予算編成に伴う会派要望の内容について」

### ① 新型コロナウイルス感染症に対する対応

市民の生活を守るため、再度の感染拡大など状況に応じた機動的な財政支出による支援をお願いしたい。また、これまでまちの繋がりを維持してきた地域活動や市民活動、文化活動、スポーツ等の活動再開に際して、サポートするなどの支援をお願いしたい。

### ② 誰一人取り残さない教育環境に向けて

不登校児童生徒の増加は、現在大きな課題となっています。不登校の未然防止と、更なる支援の充実に取り組んでいただきたい。特に山口県内で唯一本市が教育支援センターを設置していないことが理由で起きている、第3の居場所の確保の問題には、差のない出席扱いと保護者負担の無償化に早急に取り組んでいただきたい。また、支援の必要なヤングケアラーの実態調査と、当事者及び社会に対する啓発活動を行い、確実な支援に取り組んでいただきたい。

### ③ 地域力アップにつながるコミュニティ・スクールの充実を

15歳までの学びと育ちを18歳までつなぐという視点で、高校生達の創造力や夢をまち全体が応援して実現させることは、愛郷心のあるまちづくりのプレーヤーを育て、まち全体に活力を与えます。18歳まで見通した次世代型コミュニティ・スクールの推進の中で、地域、学校双方に好循環を生み出す取組みを進めていただきたい。

### ③ 小中一貫ひかり学園実現により学びと育ちの充実を

小中一貫ひかり学園の実現は、光市の人口推計、教育施設の長寿命化計画の分析によると待ったなしの状況です。施設一体型のひかり学園の実現に向けて、早くから連携教育に取り組んできた大和中学校区から、具体的な計画を示し取り組んでいただきたい。また同時に、児童生徒の学びと育ちを第一に考え、全教科における専任の教員の配置と、学校図書指導員の各校配置の実現を目指していただきたい。

### ④ 自治体DXの推進と条件不利地域の通信インフラの整備を

自治体DXを推進し、「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」に向けて、コミュニティセンターや出張所等の公共施設に、Wi-Fi設備や情報にアクセスできる機器の配備に取り組んでいただきたい。特に通信環境の不利な中山間地域等においては、リモートワークが可能となる通信インフラの整備が、ワーケーションや移住定住への魅力の一つになると考えられるため、ぜひ取り組んでいただきたい。

### ⑥ 下水道料金の適正化

当市の下水道使用料は県内他市町に比べ、市民の負担の大きさが指摘されています。公営企業会計になった下水道事業について、早期に経営戦略の改定に取り組み、市民にとって負担の少ない適正な使用料になるよう取り組んでいただきたい。

## ⑦ ごみ分別収集の負担の解消

ごみ集積所における分別違反ごみの処理は、高齢化、コロナ禍により、自治会に大きな負担となっています。ごみ出し支援も含めて課題解決に行政が積極的に取り組んでいただきたい。

## ⑧ 市民にとって切実な日常の足の確保と公共交通のバリアフリー化推進

市民アンケート結果において、重要度が高く満足度が低いニーズの上位となっている公共交通については、「地域公共交通計画」の策定において市民の声をしっかりと反映させるとともに、地域の実情に合わせた公共交通の整備に力を入れて取り組んでいただきたい。また、市内各駅の乗降段差の解消など、既存交通機関のバリアフリー化に取り組んでいただきたい。

## ⑨ 農業者・漁業者への支援

有害鳥獣等による収穫物や耕作地への被害により、担い手が耕作意欲を失い、不耕作地が増えることが懸念されます。特にイノシシによる被害に対しては、防護の充実を図るとともに、将来にわたる捕獲体制の維持・充実についても取り組んでいただきたい。

漁業資源の育成・開拓に加え、海産物の6次産業化や直販、飲食などを行う地産地消拠点の整備については、漁業者支援と販路づくりを目指し、漁業者、加工業者、販売業者と行政が連携して取り組んでいただきたい。

また、給食センターと連携した地産地消の推進にも積極的に取り組んでいただきたい。

## ⑩ 光漁港海岸保全施設整備工事の浸食対策の優先的実施

室積海岸松原地区では、台風や冬季の波浪により侵食が進んで浜崖が大きくなり、地域住民に不安が広がっています。この危険な状況を改善するため、養浜工事を早期に着手していただきたい。

## ⑪ あらゆる自然災害への備えを

平成30年7月豪雨災害の経験を市民生活の安全・安心に変えるため、河川の状況に応じた浚渫と内水面氾濫を防ぐ為のポンプ設置等の対策・体制整備を進めるとともに、県に対し「島田川洪水浸水想定区域」の早期見直しを求めている。

整備が進められている防災指令拠点施設により、災害時の対応能力の格段の向上が見込まれますが、耐震性能不足が指摘されている本庁舎については、災害対応の要として不安が払拭できない状況です。凍結している本庁舎の整備に向けて、方針を示し取り組んでいただきたい。

地震災害については、広域にわたって被害が発生し、避難生活が長期にわたることや、施設や職員にも被害が及ぶことも想定した、避難所運営の体制及びマニュアルの整備等に取り組んでいただきたい。

## ⑫ 長期的視点で未来の光市のグランドデザインを

旧光総合病院跡地、光駅南口市営駐車場、本年度末に閉校する光丘高等学校用地等の大規模公共用地をどのように活用するかは、今後のまちづくりに大きな影響を与えます。老朽化の進む図書館や文化センター、本庁舎等の公共施設の更新・再編については、長期的な視点に立ち、市民とともに光市のグランドデザインを描き、豊かな未来に向け、着実に取り組んでいただきたい。

# 令和4年度予算編成に伴う会派要望

予算編成に反映させるため、昨年11月、市長あてに12項目の要望書を提出しました。

光市議会会派「共創」



## 新型コロナウイルス感染症に対する対応

- ・経済団体等が自発的に実施する地元購買の促進に資する取組への支援「ひかり消費喚起補助制度」
- ・市内で使用する「コロナ克福(こくふく)商品券」の市民全員への配布
- ・困窮する事業者のための「不況対策特別融資利子補給」の拡充
- ・「光プレミアム飲食5,670人(コロナ・ゼロ)キャッシュバック事業」の再開



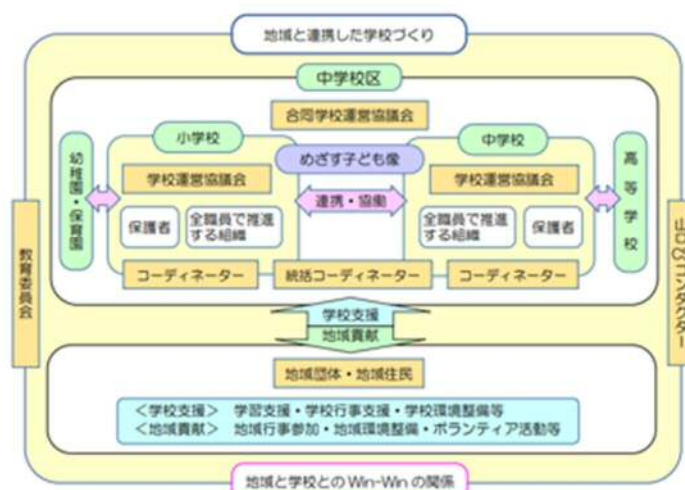
## 誰一人取り残さない教育環境に向けて

- ・不登校児童生徒に対する公的な教育機会の確保として、教育支援センター「まなびぼひかり」の整備
- ・スクールカウンセラー派遣事業の拡充



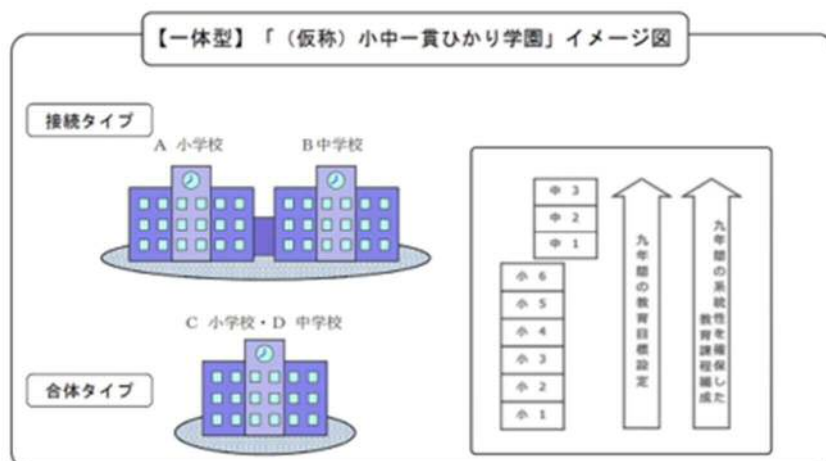
## 地域力アップにつながるコミュニティスクールの充実を

- ・引き続き、コミュニティスクールを基盤とした「学び」「育ち」をつなぐ、幼保・小・中・高等学校の「連携・協働教育推進事業」の推進



## 小中一貫ひかり学園実現により学びと育ちの充実を

- 「施設一体型小中一貫ひかり学園推進事業」「やまと学園」実現に向けて、  
(仮) 準備委員会等での協議を進めるため有識者をアドバイザーとして招聘



## 自治体DXの推進と条件不利地域の通信インフラの整備を

- 「行政手続きオンライン化」による利便性向上
- LINEアプリを使った道路の不具合や有害鳥獣の通報など、市民と行政双方向の「情報受発信ソールの導入事業」
- 福祉分野では「母子健康手帳アプリ」「デジタル保育推進事業」
- 教育分野では、教育におけるICT活用の要である「教育先端技術チーム(HEAT)」による学校ICT支援業務
- 市が抱える様々な分野の諸課題に対し、先端技術、デジタルツールの活用やセキュリティについて、幅広く活躍が期待される「デジタル化推進アドバイザー」の任用等々、様々な分野で推進されます。





## 市民にとって切実な日常の足の確保と公共交通のバリアフリー化推進

- ・新たに策定した「地域公共交通計画」に基づいた具体的な方策として、三島地区でコミュニティ交通の導入
- ・高齢者を対象に「バス・タクシー運賃助成パイロット事業」を実施
- ・AIを活用した「デマンド型交通」導入に向け、調査研究を進めるため、先進地視察を実施



## 農業者・漁業者への支援

- ・有害鳥獣対策として、出没を招くヤブの除去を実施する「集落環境整備事業」、箱わなの増設のための「有害鳥獣捕獲対策協議会交付金」など
- ・市内の生産、加工、販売、消費を、守り育てる新たな指針「第4次地産地消プラン」の策定
- ・地場産業の支援と併せ、子どもたちが食育として身近な食材について理解を深める機会となる「ひかり夢給食」の実施



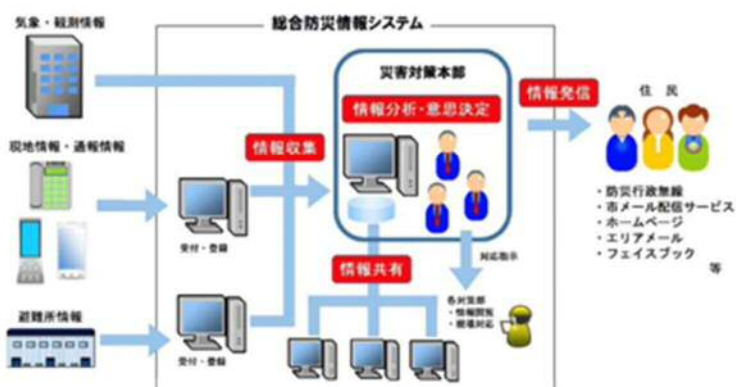
## 光漁港海岸保全施設整備工事の浸食対策の優先的実施

- ・新たに「光漁港海岸(室積海岸)保全施設整備にかかる測量・調査結果を踏まえた養浜計画(概要)について」が公表され、松原排水路の延伸と養浜の方針に沿って排水路の設計と防潮堤の整備が進められます。



## あらゆる自然災害への備えを

- ・「防災指令拠点施設の整備」とそれに伴うAIによる予測システムなどを有する最新鋭の「総合防災情報システムの構築」
- ・市民との「情報受発信ツール」との連携により、災害時における被災状況等の把握や的確な災害対応の強化が期待される「河川等監視カメラ」「ドローン」「映像配信システム」の導入
- ・被害を最小限に食い止めるため、「高潮ハザードマップ」の改訂、「小河川の浚渫事業」など、



(2) 前回いただいた意見・提言への会派としての取組み回答

①「アンケート自由意見分」

<p>・ 4年任期中で、公約の結果を反省。 →それぞれが選挙の時に掲げた公約を達成できるように、しっかり取り組みます。</p>
<p>・ もっと開かれた議会であれば良いですね。 →コロナ禍で議会報告会等が開催できていない状況が続いていますが、今回のオンライン意見交換会等、会派「共創」としましては、新しいことにもチャレンジしながら開かれた議会を目指します。</p>
<p>・ ぐるりんバスの室積ルートを整えて欲しいです。 →今年の3月に「光市地域公共交通計画」が策定されました。三島地区にコミュニティ交通の導入や、今年度はデマンド交通の調査研究のための先進地視察予算が計上されています。引き続き室積地区の公共交通のあり方についても声を聴きながら研究・提案してまいります。</p>
<p>・ 議員のみなさんの活動状況と活動実績をもっと情報発信して下さい。 →議員各位が活動報告を発行したり、コロナ禍で、会派で広報紙を発刊することが増えてきました。私たちもFacebook等のSNSも活用しながらタイムリーに情報をお届けしていますので、ぜひチェックしていただくと幸いです。また今年度、休刊になっていた光市議会広報紙を再発行予定としています。</p>
<p>・ 市民の為・光市の為になって活動して欲しい。真剣度が見えない。 だから、議員活動が市民に伝わらない。 →いただいた声を受け止め、日々の活動と情報発信に取り組みます。</p>
<p>・ 地方DX推進に消極的な勉強しない議員はいらない。 →今年度から光市でも自治体DXの取組みが加速していきます。市民の利便性はもちろん、職員の業務改善にもつながるように先進事例をしっかりと勉強します。</p>
<p>・ 光総合病院の膨大な赤字について市民に知らせ、官、議会、市民とで赤字幅を減らす努力をお願いいたします。 →膨大な赤字と指摘されているのは、一般会計からの繰り入れ分だと思われます。公立病院への繰入は、へき地医療の確保に要する経費等、総務省の操出基準により一般会計から基準内繰入が認められており、それに基づいて行っているものです。</p>
<p>・ ローソンみたいにまちのホットステーションになり、光市のために何ができるか、何をしなければならぬか、将来ビジョンをしっかりと頑張ってほしい。 →会派「共創」は、より身近で相談しやすく、問題共有から課題解決まで共に取り組む会派を目指しています。これからも市民のホットステーションになれるように取り組みます。</p>
<p>・ 光市議員の方々は真剣に市民の事を考えてくれていると思っています。 市民の声と回答が見える物があると良いですね。 →例年、市議会報告会開催時は、いただいた声に回答を作成し、報告書として光市議会ホームページ等で公開しています。ぜひご覧ください。</p>
<p>・ 頑張ってる団体に必要な予算を全額出してまかせる。</p>

→団体が取り組んでいる事業にもよりますが、令和4年度から民間提案制度の導入に向けて制度設計を行っています。会派としても求めていた事なので注視しています。

・ あいぱーく光の駐輪場を広げほしい、いつも満車の状態。

→声をいただいてから現地確認を行い改善しました。駐輪場を塞いでいた放置自転車については、担当課が警察とも協議を行い撤去しました。行事によっては、駐輪場が満車になる時もあるので、その時は、今まで通り駐輪場横、もしくは建物側に整列して駐輪いただけたらと思います。



・ 子育てしやすい街になっていっていると感じています。財源の確保と立地が課題ですが、医療費助成や施設などで育児がしやすいことが全国区になれば、程よい田舎暮らしをしたい人の転入が微増すると思います。より住みやすい光市になるように応援しています。

→光市の良いところを積極的に発信し移住・定住につなげることは大変重要です。私たちも SNS 等も使って積極的に発信したいと思います。また、この4月に市民と市職員が協働で作成した「まちの魅力発信プロモーションビデオ」も公開されたので、ぜひご覧ください。

・ 今困っているのは、空き屋問題と、猪の被害の悩みである。

→空き家につきましては、この3月に「光市空家等対策計画」が策定されました。除却に対する補助制度も始まります。猪の被害については、光市では有害鳥獣対策係を設置して対応しています。ぜひ詳細についてお知らせいただき、担当にもご相談ください。

○市民部 生活安全課 市民相談係 0833-72-1452

○経済部 農林水産課 有害鳥獣対策係 0833-72-1514

・ 世間の声や空気に流されて行われている行政の仕事（例えばごみ分別）に対する市民の声が反映されるよう行動して欲しい。

→日々の議員活動の中で市民の皆さんの声をしっかりと聴いて、課題があれば改善されるよう取り組みます。

・ 執行部は行政のしがらみや慣例主義などの問題点から何事においても時間がかかりスピード感、推進力に欠けてしまいます。その点について、議会の視点から刺激を加え、又は後押しして下さると助かります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

→今後も俯瞰した立場からのご指導、声をお聞かせください。スピード感をもって物事が進むよう取り組みます。

・ 身近で言えば赤線と呼ばれている道路を市道にして補修対応が市で出来る様にならないか？補修材料提供されても素人での補修は安全では無いと思う。

→お知らせいただいている通り、光市では、赤線道等の法定外公共物の維持管理に際して、地元自治会に単年度10万円までの必要な原材料を支給する制度があります。また、施工費に要する経費の一部を補助する制度もありますので詳しくは道路維持係にご相談ください。

○建設部 道路河川課 道路維持係 0833-72-1544

・ 高校生だけではなく、有権者の声を避けずに聞く事を優先して頂きたい。

- ・ 現在だけでなく将来の光のあり方について議論してほしい。
- ・ もっと市民の声を聞いてください。
- ・ 市民の声を聴く機会を増やすべき。井戸端会議でも、座談会でもやるべき。

出来ない理由ばかり並び立てては、駄目。

→コロナ禍で議会報告会や高校生との意見交換会が開催できていないことは、議会としても残念に思っています。そのような中、会派「共創」では、インターネット意見・提言箱の設置やオンライン意見交換会等、コロナ禍でもできる事、新しいことにもチャレンジしながら広聴活動も進化させています。将来のあり方についても、気軽にご意見・ご提言をいただき議論をしていけたらと思っています。

- ・ デジタル化を進めて頂きたい。

→光市でも令和4年度は、デジタル人材の登用等自治体DXに積極的に取り組む予算になっております。行政手続きのオンライン化推進には、マイナンバーの登録、スマートフォンの取得が大きなカギになりますので、ぜひご協力をお願いします。高齢者のスマートフォン取得に対する補助事業予算も1千万円計上されています。

また、LINEアプリを使って今年度から道路の異常やイノシシ目撃の通報を市民の皆さんから受け付けて、それを基に行政が改善に取り組む双方向の取組みもスタートしますので、ぜひご活用いただけたらと思います。

- ・ 市民も、議員さんも、だれもが活動しやすい環境であればと思います。
- ・ 今一度、市議になろうと思った初心を思い出して、市民のために汗流してください。

→会派「共創」は、二人とも市民活動をしてきたので、誰もが積極的に活動できる環境がまちの活力元であると考えています。これからも共に汗を流し活動してまいりますので、ご相談いただければサポートできることもあるかと思えます。遠慮なく声掛けください。

- ・ 雇用は国策に関わるので難しいから、それ以外に出来ること、都市整備、教育に力を入れて欲しい。

→「雇用」に限らず「都市整備」「教育」も、国、県、市それぞれの取組みが連携をとって実施されることが重要ですので、国や県の動きにも目を向けながら光市の独自性も発揮できるように取り組みます。

- ・ 意見、要望を提言してから実現(実現したことはほとんどない)までが時間が掛かりすぎて時間、浪費の無駄遣いが目立つような気がします。近隣市町は実現までが早くどんどん発展向上しているにもかかわらず、光市は何年たっても変わらないのがもどかしいです。子育ての町、おっぴ宣言をしているにもかかわらず全く子ども達の居場所、遊び場がありません。早急に廃墟となっている建物や空き地(市の所有)を有効活用して頂きたいです。
- 厳しいご意見をいただきましたが、会派「共創」にも意見、要望をぜひ聴かせていただけたらと思います。課題の共有から課題解決まで共に取り組むのが私たちです。空き公共施設の有効活用も今後増える大きな課題ですしチャンスだと捉えています。よろしく願います。

- ・ 今はだいぶ若者に向けての情報発信も増えてきましたが、高齢者や障害の人向けの情報を知る為の紙面や直接のコンタクトなどもなかなか難しいご時世ではありますが、発信してほしいかなとも思いました。それと、子どもたちなど小さな子達も、ずっと住みたくなるような街になると、人口も増えると思います。

→休刊していた光市議会広報誌を再発刊しますので、その中でも検討していけたらと思います。

・移住・定住を政策に掲げている議員さんが多いようです。人口減少時代において、少なくなる一方のパイを他の自治体と奪いあっても実りがあまりないと思います。住みよい町、活気のある町づくりのためには、ワーケーションや長期滞在観光の促進など、交流人口を増やすような政策も検討していただけたらと思います。私は結婚で2年前に光市に来ました。アメリカのカリフォルニアのような雰囲気が好きです。

→私たち会派「共創」は、二人とも他県からの移住者なので交流人口に対する考えも共感します。ぜひ意見交換して私たちとの交流から始めさせてもえたら嬉しいです。

・共創のお二人はさまざまな取り組みにチャレンジされていることをより強く感じますが、市議会や議員さん全体を通して見ると、新しい時代や生活様式への移り変わりの中で起こる多様な考え方や新しい考え方に対しての取り組みや取り組もうとする姿勢が見えづらいように感じます。

→先の選挙で若い議員も増えましたので、新しい時代や生活様式の変化に対応した柔軟な議会活動になるように、引き続きチャレンジ精神も持って牽引役になれるように取り組みます。

・視察等でもオンラインを活用した相互交流が増えているとも聞きますがそういったことはどの程度行われているのでしょうか。また、視察等を通して先進事例を得て学びヒントにするだけでなく、得た知見から新しいものごとを生み出し、提案や推進していく気概をもっと感じられるようになってよりよいまちになっていくのではないかと感じます。

→会派共創でもオンライン研修等活用して見識を広め、議会内でも改革に向けて提案しています。政務活動費を活用した研修は光市議会ホームページでも報告書を公開していますので是非ご覧ください。

今後もコロナ禍に関係なく地方ほどオンラインは有効活用すべきと考えていますので、議会の中で合意形成が取れるように引き続き会派として提案してまいります。

・「議会だより」については紙でもWEB版でも良いと思いますが、自ら発信する姿勢を示す意味でも、何らかの形でしっかりと作られるべきと感じます。

→休刊していた光市議会広報誌を再発刊し、令和4年5月25日号の市広報と共にお届けします。今後も改善していきますので、ぜひ読んでいただき感想やご意見をいただけると嬉しいです。

## ②「オンライン意見交換会分」

・光市の適応指導教室が無いことについて

→一般質問や会派要望でも取り上げ続け、新しく公設の教育支援センター（適応指導教室）「まなびばひかり」が光市立図書館2階に設置されました。令和4年度には、整備のための予算も計上されています。

スタートしたばかりですので、これからもご意見をいただけるとより良い場所になっていきますので引き続きよろしく申し上げます。

・こども食堂の取組みについて

→第1回つながる勉強会開催後、新しく大和地区に「いわたこども食堂」、浅江地区に「ひ

かり災害炊き出し食堂」が開設され、光市内4地区にこども食堂ができました。引き続き市内全域に広がるように取り組みます。

・光市役所掲示板の公示方法について

→現地確認後、担当所管に伝えさせていただき、昨年末に清掃、整理・整頓を行い見やすい環境に改善されました。ガラス引戸は自由に開けて中を見ることができますので、閲覧後は閉めてください。



・光総合病院の対応について

→個別案件でしたので、オンライン報告会后に個別にお話を聞かせていただきました。

・議会報告会について

→コロナ禍で議会報告会や高校生との意見交換会が開催できていないことは、議会としても残念に思っています。そんな中、会派共創では、インターネットアンケートの実施やオンライン意見交換会等、コロナ禍でもできる事、新しいことにもチャレンジしながら広報広聴活動に取り組んでいます。これからも気軽にご意見・ご提言をください。

・光市に住んでいて満足度が高いという民間建設業社のアンケート結果について

→大東建託株式会社が過去最大級の居住満足度調査を実施し、「街の幸福度&住み続けたい街ランキング2021」が発表され、光市は山口県内ランキングで、街の幸福度1位、住み続けたい街3位、街に誇りがある1位、街に愛着がある2位、住みこち7位と高い評価結果となっていました。

・瀬戸風線開通後の虹ヶ丘から光駅（虹ヶ浜側）へのアクセスについて

→瀬戸風線は、開通に向けて山口県が工事を進めているところですが、光駅については、令和6年度末までに南北自由通路、駅舎の建て替えを予定しており、その後、令和9年度末までに南北の駅前広場の整備を予定しています。南北自由通路と駅舎の建て替えが終われば、エレベーターの設置、改札も上下線それぞれに設置され虹ヶ丘側からもバリアフリーで利用できる計画となっています。

・インバウンドに向けた観光客の受け入れ対策について

→インバウンドについては、現在のところ特筆した取り組みは情報を持っていませんが、長門市の元乃隅神社のように海外の雑誌で紹介されることによって一気に有名になり国内外問わず観光客が訪れる例もあるので、行政と言わず市民の皆様にも光市の魅力を積極的に情報発信をお願いします。

・意見交換会の開催時間について

→今回は18時から開催でしたが、まだ遅い時間のほうが参加しやすいというご意見でしたので、次回検討させていただきます。（第3回は19時から開催としたところ参加者には好評でした）

### (3) 今回意見交換分

#### 「インターネット意見&提言箱」

・海が売りなのに全然海沿いに飲食店やアクティビティの店がない。旧光総合病院が解体されてマンションが建てば海沿いに飲食店が入ることができずに光市衰退するばかりです。も

っと若い人を呼び込むように光市を盛り上げて欲しいです。以前海から山の方を眺めた時にワイキキビーチを思い出しました。「ワイニジビーチ」で売り出してはどうでしょうか？  
笑。よろしくをお願いします。

→光市の海に大きな魅力を感じているご意見をありがとうございます。「ワイニジビーチ」面白い発想だと思います。旧光総合病院跡地については、解体売却予定となっていますが活用は未定となっていますので、ハード面、ソフト面共に民間活力を呼び込み活性化につながるよう提案していけたらと思います。

・病院移転・光駅立て替え・高校統合・市庁舎立て替えなど、決定のプロセスが見えず（見えにくく）理解しづらいところがあると思います。よって市政が「他人事」に感じ、結果的に地元への愛着や定住につながってないような気がします。市政が「自分事」になり「愛着」や「定住」につながるためにもっと決定のプロセスが「わかりやすく」となると良いと思います。

→議会、議員としても一般質問等で市の取組み、政策決定に至るプロセスを質していますが、その内容が分かりづらいことは私たちも感じています。質問方法をさらに改善するとともに、市民の皆様にも伝わる情報発信を心掛けます。

また、市長が行う市民の皆様との意見交換会もコロナ禍で開催できない状況が続いていました。今年度は「市長と気軽にミーティングお出かけ版」を開催予定ですので、その取組みに期待したいと思います。

・先日島田小学校運営委員会があり、小中一貫校の説明がありました。

島田の場合は島田川学園。この話を初めて聞いた何年前のとき、あまりの唐突さに驚きましたが、今回も。確かにパブリックコメントは募集してたな。

①つまりは建物の建て替えと抱き合わせなのか、が第一印象。

②島田の場合、R17年。そんな先のことを我が事として考えられる人がどのくらいいるか？

③我が子が学校にいる現役世代はともかく、残念ながらどんどん卒業していってしまうので、黙って我慢していれば通り過ぎるのが、学校や教育の難しいところ。

だからこそ、我が事として考えられる発信の仕方が重要。

④そういえば「新しい公共」登場の頃、随分お金を使わせてもらって視察に行った。何も活かせなかったけど、ようやく光市はそこにたどり着いたのかな？

⑤視察したいくつかのコミュニティスクールや地域との連携は、その後どうなってるのさう？

→島田小学校区、島田中学校区の実施の詳細、過去の「新しい公共」の実施の詳細が分からないので、また詳細を教えていただけたらと思いますが、「光市施設一体型小中一貫ひかり学園の新設」は、子どもたちの学びと育ちを第一に考え、保護者や地域の方々とも丁寧な話し合いの中で進める必要があります。今回の方針を基に共に光市、地域の未来を考えていけたらと思っておりますので、引き続きよろしくお願いします。

・「まなびばひかり」について、体験の時にいらっしゃった先生が変わられてたことに娘はショックを受けてました。

これから、せつかく信頼関係ができて異動等で先生が変わるとか可能性もあるのでしょうか？あるとしたら、人と接するのが苦手な子が多いからそのことがきっかけで行きにくくなる子も出てくるかも…と心配します。



勉強について、今は中学に行けなくても高校受験して高校から行けるようになる子もたくさんいるから。中学の勉強をテストに向けて教えてくださるのかどうか。これは、子供の状態（家から出ることが目的の子もいると思うから）

いろんなタイプの子供に対応して下さったら安心して通えると思うが、まなびばにどれだけのことを求めてもいいのかが保護者としては難しい。

学校じゃないんだから…ってなるのもって思ったりもします。

→令和4年度よりスクールライフ支援員を4名から5名に増員し、「まなびばひかり」に支援員が1人は常駐できるように体制整備を行い、5月2日に光市立図書館2階に正式設置しました。

「まなびばひかり」は、主に学習支援を行う場ですが、光市の強みであった支援員が一人一人を訪問して対応するアウト型リーチ、体験を主とした「あそびばひかり」と組み合わせる支援を行いますので、所属する学校、光市教育委員会学校教育課まで遠慮なくご相談ください。

○光市教育委員会 学校教育課 0833-74-3602

## 「自由意見交換」

・瀬戸風線は予定通り、開通する予定でしょうか？事業展開を考えて、光駅北エリアへの出店を考えていいものか悩んでいます。

→平成31年に山口県が今後概ね10年での開通を目安に工事に取り組むと答えており、順調に工事が進んでいると聞いています。

・光駅について、これから虹ヶ丘住民も足腰不安になる人工多くなるだろうし、とにかくだれもが使いやすい、バリアフリーな駅になるといいなあと思います。

→光駅につきましては、令和6年度末までに南北自由通路と駅舎の建て替えを予定しており、その後令和9年度末までに南北の駅前広場の整備も予定しています。南北自由通路と駅舎の建て替えが終われば、エレベーターの設置、改札も上下線それぞれに設置され虹ヶ丘側からもバリアフリーで利用できる計画となっています。

・もう一つ、光市活性化に動いているのですが、光市にテナントが無さすぎて、事業展開、拡大を考えるのに、市外を検討しないといけない状況です。先ほどの総合病院跡地などに集合店舗などの環境を作って頂くとか検討して頂けるとありがたいですが、いかがでしょうか？

→光総合病院跡地については、解体後売却予定となっており、基本的には購入した民間業者次第ということになりますが、ご指摘のようにテナントとして事業を行う方が建物ごと建設するよりコスト面で有利と理解できます。光総合病院跡地に限らずそういった物件を増やすことは活性化にも有効と考えますので、方策については今後の研究課題とさせていただきます。

先行して売却した旧光総合病院の駐車場跡地は、現在、民間が医療モールを建設中です。

・4月より周南公立大学が開校されました。市立ではなく公立と命名された理由として周南3市での連携を図りたいと学長はおっしゃられていました。光市として積極的に関与する意思はございますか。

→本年度、光市総合計画のマンガ版作成や周南公立大学と連携したPBL（プロジェクト型

課題解決学習)を活用した官学連携事業に取り組むこととなっています。具体的な内容については、これから示されると思いますので内容を注視していきます。

- ・先ほど、子ども食堂が増えているとお話しされていましたが、開催場所や日程などは、どこで知る事が出来ますか？

→山口県のサイトで県内子ども食堂の状況を見ることができます。ご参照ください。  
<https://www.ymgckodomosyokudou.com>

- ・建物の老朽化など問題があるかとは思いますが、新学部設立に際して光丘高校の再利用はいかがでしょうか。先ほどから出ています瀬戸風線の開通次第では周南市との交通アクセスは大幅に改善されます。また、新学部の候補として掲げられる看護科を誘致すると光市立総合病院との連携、看護師の確保に貢献できます。また、光市内に安定的な若者の確保につながると考えます。私見です。

→多くの効果が期待できるアイデアを提言いただきました。このアイデアの実現の可能性については、関係する多方面に確認検討が必要と考えられますので情報を集めてみたいと思います。

- ・これまでの課題、解決、未解決などの一覧がホームページなどであるといいなと思います。

→前回開催の報告書の所感にも書かせていただきましたが、いただいたご意見・ご提言にどのようにお返しするかが課題と感じておりました。

今回、報告会の中で回答をお返しさせていただくのと同時に、この報告書においても回答を公開させていただきました。

これからも会派共創は、市民の皆様と双方向の関係づくりに取り組んでまいりますので、引き続きよろしく申し上げます。

以上